

10

No.522
OCT.2014

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



CONTENTS

- 01 産業政策に関する要望書を県に提出
茨城産業会議～第2回企画調整委員会を開催～
- 02 委員会報告
総務／経営教育／労働企画／科学技術／青年経営研究会
- 03 支部だより
水戸／土浦・石岡・つくば／県西／共催セミナー
- 06 県内NPO情報Vol.168<横田能洋>
「共助社会をつくる上でのNPOの役割」
- 07 新入会員紹介
- 09 『会員増強運動2014』の状況 目標まで11社
- 11 数に込められた思いと意味⑦<葛田一雄>
「励声一番（発気用意で輪一緒）」
- 13 セミナー・事業等のご案内

産業政策に関する要望書を県に提出

当協会は、9月25日(木)、深澤正勝産業政策委員長(日立セメント(株)取締役専務執行役員)と澤畑慎志専務理事が茨城県庁を訪れ、斎田陽介茨城県商工労働部長に産業政策に関する本年度の「県政要望」を提出した。

懇談の中で、深澤委員長は「会員企業から寄せられた切実な要望を50項目に整理させていただいている。今年度は特に人手不足に対する支援を求



める声が多く寄せられ、人材確保対策支援等の要望項目が多くなっている。併せて、昨年からの継続要望もあるが、是非前向きな対応をお願いする。また、国が所管するものについては、国への働きかけを強めていただきたい」と述べ、雇用維持・確保に対する支援、販売促進・強化に対する支援やインフラ整備の充実強化を要望した。

これに対し斎田部長は「オリンピックも控えており、人手不足が更に加速化しないよう十分な対応策を検討していきたい。本要望書は行政としても、産業界の課題を共有し、本県経済活性化に向けた施策に非常に有用なものと認識している」と、積極的に対応する考えを示した。

なお、産業政策委員会では、来年2月に、今回提出した県政要望を基に茨城県関係各課との意見交換会を予定している。

茨城産業会議 ～第2回企画調整委員会を開催～

茨城産業会議(鬼澤邦夫議長)の企画調整委員会(委員長 高橋日出男氏 (株)協立製作所 代表取締役社長※経営者協会副会長)は、9月16日(火)、水戸市・水戸京成ホテルで本年度第2回目の委員会を開催した。

議案審議では、第1回委員会での意見・指摘をもとに修正された、平成27年度県政提言・要望(案)について検証がなされ、出席者からは「県民が安心して暮らせる医療・介護体制の整備では、医療体制についての要望はあるが、介護についての要望・提言がなされていない」、「茨城県が犯罪のない安全な県となるよう、地域社会の安全に対する要望もすべきであり、安全・安心な街づくりは本県の人口減少対策にも効果がある」などの様々な意見・指摘がなされた。

これらの意見・指摘を踏まえ要望案を修正し、10月に橋本知事へ提出する。また、11月には知事との懇談会で提言・要望事項に関する意見交換を実施する予定である。



茨城産業会議は、茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会、茨城県商工会連合会、茨城県中小企業団体中央会の4団体で構成。常陽地域研究センターが協力団体として参加し、産業政策やインフラ整備、地域問題など重要事項について経済界の意見を集約し、提言をしております。また、大学との産学連携事業や各種団体との関係強化を図っております。平成18年度より当協会が事務局となっております。ご意見等がございましたら事務局までご一報ください。

事務局：茨城県経営者協会内(加藤、須藤、高田)
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109

総務委員会

『第7次中期運営要綱』の進め方を確認、会員満足度調査を検討

総務委員会(委員長 坂本秀雄氏(株)常陽銀行 専務取締役)は、9月12日(金)、当協会会議室で委員会を開いた。

委員会では、事務局より会務会計報告がなされ、平成26年度は52社入会、12社退会で会員数857社となったことが報告された。

次に第7次中期運営要綱の組織関係活動に関する取組みと女性経営幹部の組織化について検討した。

会員満足度調査については、回答いただく方を明確にし、経協の“地域貢献活動”や“政策提言活動”がどういった内容なのか不明な会員のため、A4サイズ1枚程度の説明資料を

添付し進める事を確認した。



経営教育委員会

平成26年度 第2回委員会を開催



経営教育委員会(委員長 植木誠氏(株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は9月16日(火)、当協会会議室において本年2回目となる委員会を開催した。

委員会では、本年上期に実施された各研修・セミナー事業のアンケート結果や、現在案内が進められている下期に開催が予

定されている研修・セミナーの申込み状況について確認された。

また年明けに開催が予定されている「経営研究会」では、“アグリビジネス”や“介護ビジネス”について、業界動向や今後の展望を探る勉強会を開催することが承認された。

新任管理者研修を開催

経営教育委員会(委員長 植木誠氏(株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は9月4日(木)、9月11日(木)、9月24日(水)、10月2日(木)、土浦市・ロープにおいて新任管理者研修を4回シリーズでスタートした。

講師には、第1回「リーダーシップ」、第2回「部下育成」は、組織変革のエキスパートである、株式会社エトス代表取締役の門田由貴子氏、第3回「心理学に基づくコミュニケーションスキル」、第4回「職場におけるハラスメント問題とメンタルヘルスへの対応」では、茨城県では数少ない経

営系社会保険労務士の皆川雅彦氏にご指導いただく内容となっている。

1、2回目は、管理者の役割と責任・期待される能力、人材育成の進め方、部下が育つ指示の与え方などについて、ディスカッションやチェックシートなどを交えて進められた。

参加者へのアンケートでは、「ベストな考え方を説明してくれたことは非常に満足している」「リーダーシップ」「部下育成」は業務遂行上、日常的に知っている、分かっている、と思っていたが、実は分かっていたつもりでいたことに気づかされ、はっと

した思っていた。分かったつもりではなく、それを“できる”“行動に移す”ことが大切であることを実感し学んだ」「これまでとは違った視点でリーダーシップや部下育成ができそうです」などの声が寄せられた。



労働企画委員会

第5期「若手の人事労務担当者の勉強会」を開催

テーマは「新入社員～5年目までのモチベーション向上策と育成プログラムを考える」



労働企画委員会(委員長 館岡司氏(株)日立製作所電力システム社日立事業所副所長)は9月4日(木)、日立市・大甕クラブにおいて、第5期目となる「若手人事労務担当者のための勉強会」をスタートさせた。

本勉強会は、会員各社の若手の人事労務担当者が学び合いを通じて、労務管理スキルの向上と同世代の「仲間づくり」を目的として開催するもの。

第5期メンバーは32名(昨年、第4

期メンバーは28名)。全4回の会合を通じて、「新入社員～5年目までのモチベーション向上策と育成プログラム」を考えていく。

初回の会合では、メンバーの自己紹介に引き続き、アドバイザーである安田尚道氏(常磐大学大学院教授)から「人事労務管理の変化と教育訓練管理 - 人事労務管理体系と役割業績主義との関係で-」と題し、ご講演頂いた。

次回会合からメンバーを4チーム

に分けて、グループワークを行い、12月の予定されている最終会合では、成果報告会を開催する予定となっている。

〈今後のスケジュール〉

第2回 平成26年10月2日(木)
会場 新日鐵住金(株)鹿島製鉄所

第3回 平成26年11月6日(木)
会場 (株)日立ハイテクノロジーズ
第4回 平成26年12月4日(木)
会場 キリンビール(株)取手工場



科学技術特別委員会

平成26年度の事業活動計画(案)などについて協議検討

科学技術特別委員会(委員長 浦瀬賢治氏 (株)日立製作所電力システム社日立事業所長)は、9月2日(火)、当協会会議室において、委員会を開催した。

当委員会では、平成26年度の事業活動計画(案)などについて協議検討し、主に企業間の情報交流や相互啓発の場の提供、また、関係機関との連携によるものづくり支援事業など

を実施していくことを了承された。
具体的な事業としては、県内5金



融機関との連携による「茨城ものづくり企業交流会(製品技術展示会)」「ものづくり先進企業見学会」「県企画部科学技術振興課との懇談会」などを実施し、ビジネス交流会を通じたマッチング事業や企業の技術力・製品開発力の向上をねらいとする事業を開催していくこととなった。

青年経営研究会

青年経営研究会が8月例会を開催

青年経営研究会(会長 磯崎寛也氏 (株)アイ・ティ・エイチ代表取締役)は、8月29日(金)、土浦市川口の



「L'AUBE」にて8月例会を開催、当日はオブザーバー含め42名が参加した。

今回の例会では、交流拡大委員会(委員長 大澤健司氏 (株)サンヨーホーム専務取締役)の主催により“市街地活性化”をテーマに、内閣府地域活性化推進室参事官補佐の横田清泰氏よりご講演いただくとともに、現在、横田氏が土浦市とともに取り組まれている“霞ヶ浦の水陸両用

バス”や“世界一の噴水”などの地域活性化施策についても解説をいただき、参加者は講演の前段には実際に水陸両用バスの乗車ツアーも体験した。

講演会後には、青年経営研究会役員・メンバーと本年度新たにご入会いただいた方々、また例会にオブザーブ参加いただいた方々との交流が深められ、散会となった。

支部だより

OCT. 2014

Branch office report

水戸地区支部

「新会員歓迎会」を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店 代表取締役社長)は、8月28日(木)、水戸京成ホテルにおいて、「新会員歓迎会」を開催した。参加者は30名。開催にあたり、西村支部長より「経営者協会水戸地区支部では、様々な事業を企画・開催している。新会員の皆様には、入会以降、様々な事業のご案内が届いているかと思うが、少しでも興味のある事業があれば、積極的に参加いただきたい。また、事業についての要望があれば、事務局に遠慮なく声を届

けていただきたい。皆様の要望に沿えるよう今後の事業企画に活かしていく」と挨拶があった。

本会は水戸地区支部で平成25年度以降47社と多数の新会員をお迎えできたことより、新会員の方が支部事業に参加しやすい環境づくり、情報交換を含めた交流機会の提供を目的に47社を参加対象として開催。当日は、参加者の自己紹介、企業PRも行われ、参加者からは、「普段はなかなかお会いできない方や異業種の経営者とも交流が図れ、良い機会で

あった」、「様々な経営者の方の考えを学ぶことができた。今後の事業も積極的に参加したい」などの声が寄せられた。



水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店 代表取締役社長)は、8月28日(木)、水戸京成ホテルにおいて、平成26年度第2回役員幹事会を開催、10月開催の支部総会スケジュール、他支部との合同事業



についての確認、下期事業活動の具体化などについて協議を行った。

開催にあたり、西村支部長が、「足元の景気は決して良好でないと感じているが、増税後、徐々にではあるが、確実に回復傾向にはあると思う。さて、今日は幹事会後に研究会、新会員歓迎会も併設しており、限られた時間での幹事会開催となるが、皆様方より忌憚のないご意見を頂戴したい」と挨拶。

その後、谷津幸男副幹事長(茨城倉庫(株)取締役総務部長)の進行の下、報告・協議事項へと移った。報告事

項では、事務局より7月の行政懇談会の開催結果が報告など、また、協議事項では、支部セミナーの講師選定がなされ、出席者より参加者目線からの様々な意見がだされ、候補が選定された。次回第3回役員幹事会は12月に予定。

- ・支部総会 10月7日
筑波大学医学医療系生命医科学域
准教授 熊田博明氏の講演
- ・支部セミナー 1月
(株)ベレフェクト
代表取締役太田彩子氏

水戸地区支部

研究会「経営セミナー」を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店 代表取締役社長)は、8月28日(木)、水戸京成ホテルにおいて、「経営セミナー」を開催した。参加者は64名。

本セミナーでは「0円で8割をリピーターにする集客術～増税の価格転嫁にも負けない！リピーター獲得経営の極意～」と題し、リピーター創出専門コンサルタント一圓克彦氏に講演いただいた。STEP1ではリ

ピーターを〈知る〉ために、リピーターがもたらすメリット、数字で見るリピーターの凄いチカラ、リピーターの種類を、STEP2ではリピーターを〈つくる〉ための必要なこと、心理学を活用した【思いだしてもらおう】ための策をご指導いただいた。

参加者アンケートでは「情報が現実と結びつき大変分かりやすかった」、「販売・販促の様々な場

面に役立つ」、「改めて営業戦術を見直すきっかけとなった」などの声をいただいた。



土浦・石岡・つくば地区支部



土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 有馬幸男氏 日立建機(株)執行役専務兼取締役)の人事労務研究会は9月24日(水)、(株)カスミつくばセンターにおいて平成26年度総会ならびに第1回情報交換を開催した。

総会でははじめに、代表世話人の選任が行われ、関東情報サービス(株)常務取締役の塚崎俊一が選任され

た。任期は本年度から2年間。

新たに代表世話人に就任された塚崎氏が「長年に亘り本研究会の活動にご尽力頂いた勝山勲氏が退任されましたことに伴いまして、新たに代表世話人を務めさせて頂くこととなりましたが、勝山前代表世話人と同様に会の運営につきましてご協力の程お願い致

します」と挨拶をされた。

報告協議事項では、25年度活動報告ならびに26年度活動計画案について協議を行い、原案通り了承された。

年4回の活動計画(情報交換のテーマ)は、①「各社の長時間労働・残業削減・業務効率化の取り組み」、②「近頃の労

働組合との交渉状況について」、③「各社の新卒者採用の状況と募集方法について」、④「各社の若手社員・新入社員の育成施策・早期離職防止策について」に決まった。

総会後は、茨城マーケティングシステムズ(株)代表取締役の後藤良秋氏から「労働の質的向上への取り組み」と題し、事例発表頂き、その後情報交換を行った。





土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 有馬幸男氏 日立建機(株)執行役専務兼取締役)と県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、9月18日(木)、視察会を合同で開催した。

視察先は、日本最高級クリスタルと賞され、皇室御用達、迎賓館や世界各国の日本大使館・領事館で使用されるクリスタルガラス製品を製造

するカガミクリスタル株式会社と、昨年製法を刷新した「一番搾り」のビール製造工程を、麦汁の試飲や顕微鏡によるビール酵母の観察など体感を重視した見学コースにリニューアルされた、キリンビール株式会社取手工場の2社。

カガミクリスタル株式会社では、クリスタルガラス製品の製作現場を視察し、職人独自の「匠の技」とともに、職人の技の連携により製品が完成していく過程に、参加者は魅入った。

キリンビール株式会社取手工場では、仕込の熱気や

香りなど工程を体感し、主力商品「一番搾り」に対する同社の強いこだわりが感じられた。見学終了後には出来立てのビールを試飲しながら参加者間の交流を深め、会を閉じた。



県西地区支部

経営研究会を開催

県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、9月2日(火)、「結城市民情報センター」(結城市)において経営研究会を開催、31名が参加した。本会では、「ほめる達人への道～ほめる組織は業績を伸ばす～」と題し、(一社)日本ほめる達人協会理事長西村貴好氏にご講演いただいた。

講演では、「出会う人を味方につける話の聞き方8つのポイント」、「すごい！さすが！素晴らしい！のほめ達！3S+1」などの褒め言葉、褒め

るテクニックを解説いただいた。

また、「褒めるとは「人」・「モノ」・「起きる出来事」の価値を発見して、伝えること”褒めて伝えれば最高の返事が(行動が)もらえる”と褒めることの定義、重要性を説いた。

参加者アンケートでは「褒める、褒められることの重要性を再認識できた」、「すぐに実践できる内容であった」、「実際に使用できるフレーズを

たくさん知ることができた」、「時間を忘れるくらい中味のある内容だった」などのご意見をいただいた。



マナーアップ&クレーム対応セミナーを開催

当協会は、全支部共通で若手社員の方々を対象とした「マナーアップ&クレーム対応セミナー」を7月9日(水)、茨城県産業会館、9月24日(水)、つくば研究支援センターにて開催し、合計111名が参加した。

本セミナーでは、当協会の土浦・



石岡・つくば地区支部の会員であり、人財教育やサービスレベル調査を得意とする(株)EMMY(エミー)代表取締役の渡辺満枝氏を講師としてお招きした。

研修内容では、挨拶・姿勢・服装・身嗜み・言葉遣いなどの一般的なマナーに加えて、電話対応・来客対応・案内誘導の仕方・訪問マナー・名刺交換・お茶の出し方・席次などの多種多様なビジネスマナーを、ロールプレイやグループディスカッション通して行った。また、高業績達成のための円滑なコミュニケーション理論やクレーム時の心構えと対応の仕方なども学び、実際にクレームが起

きた場合に使いたい言葉と使ってはいけない言葉、顧客の心理状態や二度とクレームを起ささないような取組みなどについても指導いただいた。

受講者からの意見(アンケートより抜粋)として「先生の姿勢・話し方・表情等全てが見本となるとともに、実際にロールプレイを交えながらの研修であったのでイメージが付きやすく良く理解できた」、「電話対応や来客対応など、相手への気配りや心遣いなどの細かい部分を一つ一つ丁寧に指導いただき、お手本となりました。これからの業務で相手が気持ち良い感じる対応をしていきたいと思えます」などの意見が寄せられた。

共助社会をつくる上でのNPOの役割

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

世の中には、生きづらさを感じている人が多くいる一方で困っている人を助けたいと思う人も大勢います。両者が助けあう社会が共助社会。しかし、災害時を除くと共助は成り立ちにくい現状があります。それは人の絆が弱まり、助けてほしいという声が周りに届かないためです。生活困窮には2つあります。家がないホームレスは見えやすいですが、安心して暮らせる家族が壊れているもうひとつのホームレスがあり、後者は外から見えません。見えない困窮世帯が急増しているのに助けが届かない、これが孤独という問題です。

●共助を妨げる心と制度の壁

ニートは怠けもの、依存症は本人に責任があるという自己責任主義や、生活保護や原発事故の賠償を受ける人への偏見やバッシングのもとで、どうしていいかわからず悩んでいる当事者は何もいえず孤立しています。保護に偏った個人情報の扱いにより、問題が起きていても周りに見えにくくなり、支援機関の連携の妨げにもなっていま

す。さらに人間関係の希薄化で、困ったときに話せる親族や友人が減っているため、家という密室で悩みを抱えこみやすくなっています。子育て、不登校、家族内暴力、職場の悩みなど、誰にも話せない状況が続く中で、うつや統合失調症など心の病になる人が増えています。助けてと言える機会がないため、支援が届かないうちに自殺、虐待などの事件が起きてしまうこともあります。これらの問題は、経済的に問題がない世帯でも十分起こりうることです。

●新たな生活困窮者支援の仕組み

公助、つまり行政の福祉も新たな課題への対応が遅れています。日本の社会保障は、親族での助け合いがあり、多くの方は正社員で、企業が家族の分の医療や年金の保険料も負担するという前提でつくられています。けれども、増大する非正規労働者は企業による家族支援を受けられず、賃金格差も広がり、30～50代の生活保護受給者が急増しています。親族に連絡されるのを恐れ生活保護の申請ができない人は保証人がいないために生活資金の貸し付けも受けられません。それ故、生活苦で困っているのにどこも支援してくれないという人の声がコモンズも関わっている24時間無料

の電話相談「よりそいホットライン」にかかってくる。何の支援も受けられず希望を持ってない状況で、フードバンクによる食料支援をしても、それだけでは困窮から抜けられません。孤独と貧困による負の連鎖を止めるには、悩んでいる人に寄り添い、共に課題解決をするパーソナルサポートが必要です。

2015年度施行される生活困窮者支援法は、その体制づくりを各地域で行うよう求めています。制度から漏れた人を救う新たなセーフティネットをつくる上でNPOが果たせる役割は大きいと思います。NPOは制度がなくても動けるからです。自分もこの15年、引きこもりがちな青年の就労訓練、フードバンク、外国の子どもの学習支援など、制度外の福祉事業を仲間と立ち上げてきました。NPOが制度の狭間にいる人に寄り添い、課題解決のための事業をつくったり、社会に発信したりすることで、見えなかった課題が周りに伝わり、寄付やボランティアなど共助の機会を増やすこともできます。当事者とともに活動していく中で心の壁や制度の壁をなくしていければ、共助社会に近づくとと思います。

新入会員紹介

株式会社三五関東

■執行役員社長 山脇 誠幸



Data 所在地/下妻市半谷 1100-5
T E L 0296-45-0035
F A X 0296-45-0037
業 種/自動車部品製造及び販売
従業員/ 106 名

Appeal point

当社は排気系システムメーカーである(株)三五の関東拠点として主にトラック排気管・排ガス浄化装置を生産しております。

主要製品は DPR・DPF・尿素 SCR です。2014 年 6 月から EGR・エキマニコンバータ・エキゾーストパイプなど順次生産拡大予定です。

株式会社柴沼醤油パートナーズ

■代表取締役 柴沼 秀篤



Data 所在地/土浦市虫掛 374
T E L 029-821-2400
F A X 029-821-2400
業 種/醤油製造・販売・
マーケティングサポート
従業員/ 25 名

Appeal point

社員全体が若く、自由な発想と歴史の重みの両輪を大切に、醤油という日本伝統の調味料の価値向上を目指し、海外にも積極的に展開しております。

株式会社高野高速印刷

■代表取締役社長 高野 秀樹



Data 所在地/水戸市東原 2-8-1
水戸市平須 1822-122
T E L 029-305-5588
F A X 029-305-5533
業 種/印刷全般、パンフレット・
学術誌・広報紙
WEB デザイン、電子書籍
従業員/ 19 名

Appeal point

弊社は 1960 年創業以来、印刷事業を生業として地域社会の発展に貢献し、順調に社業を伸展させて参りました。印刷全般から Web デザイン、電子書籍 (EPUB) など、高品位・短納期・ローコスト化を図っております。

企業の成長は、そこに働く人が自分の立ち位置を理解し一緒に考え共感しながら改善を図るものと考えております。当社は水戸市が認定する、人やまち、地域に優しい工場づくりに尽力する制度「水戸市認定優良工場」として、平成 14 年より現在に至るまで認定を頂いております。より一層企業の責任遂行に力を注いでまいります。

株式会社千代田テクノラ ディエーションモニタリングセンター

■センター長 福本 善巳



Data 所在地/茨城県東茨城郡大洗町
大貫町 3522
T E L 029-266-3120
F A X 029-264-5561
業 種/放射線の測定
従業員/ 120 名

Appeal point

当センターは放射線安全管理の目的である「人に放射線を受けさせない」ことを基本理念に、ガラスバッジによる個人被ばく線量測定サービスを提供しております。約 60 年に及ぶ実績と技術を結集して、優れた実績を残したガラスバッジがさらなる進化を遂げ、これに対応した統合的な新測定センターを茨城県大洗町大貫台に完成させました。

2014 年の新測定センターのスタートを糧に、これからもサービスの向上を図って参ります。

ハナワ物流株式会社

■代表取締役 埜 正明



Data 所在地/下妻市石の宮 16
T E L 0296-43-0991
F A X 0296-43-0741
業 種/運送業、倉庫業
従業員/ 49 名

Appeal point

弊社は昭和 29 年の創立以来、おかげさまで 60 周年を迎えます。総合物流業として、商品の保管から、仕分け、梱包、配送とお客様のニーズに合わせた物流を提供しています。お客様に信頼される物流企業を目指し、安全、安心の物流サービスに向け、これからも努力してまいります。

メークス株式会社

■代表取締役社長 森山 慶一



Data 所在地/守谷市中央 4-10-9
TEL 0297-55-1611
FAX 0297-55-1612
業種/ユニット式基礎鉄筋製
造・販売業
従業員/248名

Appeal point

弊社は、1979年（昭和54年）の創業以来、『小さな会社でも住宅産業で重要な仕事したい』という精神の下、戸建住宅向けを主とした溶接基礎鉄筋、通称ユニット鉄筋を製造して参りました。ここ最近では、住宅基礎においてはユニット鉄筋が常識となってきましたが、お客様のニーズにお応えするため、更なる品質向上を目指し、新商品・新技術の開発を行い、絶えず前進し続けています。

株式会社 吉田組

■代表取締役 吉田 長邦



Data 所在地/日立市十王町友部
1,866番地
TEL 0294-39-2331
FAX 0294-39-2482
業種/総合建設業・サンドブ
ラスト製造販売・不動
産賃貸・太陽光発電
従業員/11名

Appeal point

弊社は、日立市十王町において、公共土木工事を中心とした、総合建設業を営んでおります。3.11の災害時は、その最前線で地域の安心安全を支えるべく、使命感を持って活動いたしました。微力ではありますが、公共インフラ整備の担い手として社会に貢献できるよう、日々技術力の向上に努めております。また兼業として、サンドブラストの生産・販売を行っております。サンドブラストは、国内の大手造船会社様にご愛顧頂いております。特に、製品の塩分濃度低さは、スラグ系のサンドブラストでは、国内でもトップレベルと自負しております。最近では、橋梁の長寿命化対策工事における塗装塗替え工事でのブラスト需要が高まっており、北は北海道、西は愛知県までのお客様に高品質の製品をお届け出来るように、日々の品質管理を徹底して行っております。

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、


未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

『会員増強運動2014』の状況

目標まで11社、引き続きのご紹介を

1. 9月の状況

9月は、支部役員・幹事の皆様、役員・委員会委員の皆様からのご紹介もあり、入会3社、退会1社、前月比プラス2社となり、前年度比42社増、年度目標の870社まで11社となりました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。目標達成に向けて引き続きのご紹介をお願いいたします。

2. 『会員増強運動2014』について

会員の状況 (9月30日現在)

支部 項目	県北	日立	常陸・ 那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ケ崎	県西	古河・ 坂東	鹿行	合計	
25年度末 会員数	38	85	73	243	118	54	62	51	93	817	
入会数		8	2	13	7	9	8	2	6	55	
退会数	1	2	1	3		1	3	1	1	13	
会員数	37	91	74	253	125	62	67	52	98	859	
										前年度比	+ 42

平成26年度目標

870

目標比

▲ 11

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたります。

今後ますます、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、また「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るためにも、平成26年度も引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。

今年度は、本部役員等に限らず、幅広くすべての会員の皆様から、お知り合いなどをご紹介いただき、運動を盛り上げてまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社でも結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。

メールアドレス: info@ikk.or.jp

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【会員増強運動2014】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2014”の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会见込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

【数に込められた 思いと意味】

7

励声一番（発気用意で輪一緒）

k2マネジメント代表取締役 葛田 一雄

読書の始まりは、言葉、詞、辞を知ることである。そして、読書三到である。読書の法は、心到、眼到、口到にある。本を読むときは心、眼、口を本に集中して熟読すれば内容がよくわかるという教えが読書三到である。

読書週間、読書の秋、まずは、秋の詞である。9月から11月までの3カ月の称を秋と言ひ、一年四季の第3位、太陽は漸次南下し、昼は短く、夜は長くなる。

1. 秋の日

秋は、風がアキラカ(清明せいめい)であるところからだとか、収穫がア(飽)き満ちるからとか、草木の葉がアカ(紅)くなるからともいう。

秋近しは、夏の終わりの頃、秋も間もないという感じを表すときに使う。秋立つは、秋になること、立秋である。秋涼しは、風の音、水の流れなどに涼気を感じることをいう。

秋高しは、空の雲もなく澄み切った高く広々としたさまである。秋の日の釣瓶落しは、秋の日の沈むのが早いことをいう。秋深しは、晩秋、秋の気配がすっかり深まった感慨をいうときに使う。秋惜しむは、秋が終わるのを愛惜する気持ちである。

秋の風は秋に吹く風、秋の雨は秋に降る雨あるいは秋の長雨、秋の香は松茸など秋を感じさせるものの香りである。秋の川は、水が清く澄んで流れ、秋を感じさせる川のことである。秋の雲は、秋の高く澄みわたった空の雲である。秋の暮れは、秋の夕暮れのことである。秋の声は、秋を感じさせる、もの寂しい風音その他の響きである。秋の心は、秋のあわれを感じとり、寂しく物悲しく思う心である。

秋の調べは、雅楽など秋の調子である。秋の空は、秋の晴れて高く見える空である。秋の契りは、秋に会う約束をいう。秋を厭きにかけて男女の愛がさめることもいう。秋の日は、秋の一日であるが、秋の太陽のことでもある。秋の夜は、夜の長いことを意味する。秋の水は、澄みわたった冷やかな水である。

2. 秋の七草

木に春で椿、草冠に秋で萩、いずれも日本で作られた漢字である。秋の七草は、萩、薄、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗である。万葉集では桔梗の変わりに朝顔となっているが、桔梗のことである。

萩は芽子とも書く。マメ科ハギ属の小低木の総称である。薄は、ほ

もの科であるが、月見の風情には欠かせない草である。

尾花は、穂を獣の尾と見立てたからなのかも知れない。葛は、根から葛澱粉をつくる葛花である。「くずの風にふきかへされうらのいとしく見えるおかし」(枕草子、清少納言)。

撫子は、なでしこ科、瞿麥の花ともいう。撫子は、無垢な乙女のことを表すヤマトナデシコで知られる。

女郎花は黄花龍芽とも書く、おみなえし科の草である。黄色く盛り上がった様をオミナメシ、つまり粟飯に例えて名づけられたそうだ。

藤袴は、蘭草とも書く。藤の花は気高さを表す色、紫がかっていることから、佩刀と同じで悪疫防除のために袴に枝をつけていたところからの命名のようだ。

桔梗は、朝貌とも書く、ききょう科である。

3. 秋祭り

秋に行う祭りが秋祭り。新穀を供えて神に感謝する祭りも秋祭りである。神輿の担ぎ手は、ワッショイ、ワッショイと掛け声勇ましく声を合わせる。重いものを大勢で担ぐときの声はワッショイが良く合う。ワッショイにはどのような意味があるのか。輪になって

一緒にしようということからワッショイになったという説がある。「輪、一緒」から「ワッショイ」になった、とは、納得である。

穀物が実ったことを神に感謝し、豊年満作を祝う行事が秋祭りである。祭りは祭礼であるが、俳諧では特に夏祭をいう。夏祭は、みそぎ浄めて病魔を払い、清福を祈請するために行う祭りが夏祭りである。

秋祭りは、全ての生きとし生けるものが神に生かされていることに感謝する祭りである。禾偏に火と書き、秋とするのは農耕民族ならではの智慧ではなかろうか。禾偏の禾は、穀物、特に稲のことをいう。稲がたわわに実って田圃の上を風がわたり、稲穂がゆさゆさ揺れる様がまるで炎のようということから「火」をつけて秋という字になった。

4. 秋場所

相撲は、行司の「ハッケヨイ、ハッケヨイ」の掛け声がつきものである。ハッケヨイは「発気用意」が原型のようだ。気を発する、発気である。気は呼吸あるいは勢いをいう。呼吸はいいか、勢いを発する準備はよいか、行司は「ハッケヨイ、ハッケヨイ」と声掛けをする。

大相撲の本場所、秋の興行が秋場所である。相撲には行司が欠かせない。行司は、相撲の勝負の審判者であるが、行司が手にしている団扇の形をした道具を軍配団扇といい、略して団扇という。軍配とは軍隊の配置や指揮あるいは指図やお駆け引きのことである。

行司は、位によって軍配団扇に用いる房の色も決まっている。行司の最高位を立行司という。

横綱や大関の相撲を裁く役目が立行司である。立行司の筆頭名跡は、木村庄之助である。

5. 厭き飽き

秋づくし、秋の知識の押し付けに厭き厭きしたかも知れない。そこで、数字に関わる言葉の理解度を自己評価してみよう。それでは、間違い個所を指摘し、正しい表記に訂正するという誤用課題である。以下の15問、どこが誤用なのか、保有知識を確認してほしい。

- ①一刻千秋の思い
- ②女手一人で育てる
- ③辛くも2位の座死守
- ④合格者発表場は悲喜こもごも
- ⑤弱冠三十歳
- ⑥三思四思
- ⑦二人四脚
- ⑧破顔十笑
- ⑨真二文字
- ⑩孟母五遷
- ⑪約法一章
- ⑫唯一無九
- ⑬励声二番
- ⑭七十耳順
- ⑮励声三番

いかがであろうか。設問は、数字に関する誤用課題であり、以下が正しい。

- ①一刻千秋の思い 一日千秋の思い
- ②女手一人で育てる ひとつで
- ③辛くも2位の座死守 死守は1位の座
- ④合格者発表場は悲喜こもごも 悲喜こもごも、は一人を対象にしたもの
- ⑤弱冠三十歳 弱冠は二十歳
- ⑥三思九思 何度も繰り返してじっくりと考えること
- ⑦二人三脚 二人で仲良く責任

を分け合ってすること

- ⑧破顔一笑 顔をほころばせて、にっこりと笑うこと。
- ⑨真一文字 一の字のようにまっすぐなさま。
- ⑩孟母三遷 子どものため最善の環境を整えることのとえ。
- ⑪約法三章 法令を簡易にし、三カ条の法律にとどめること。
- ⑫唯一無二 ただそれ一つだけで二つとないこと。他
- ⑬励声一番 ここ一番という時に、大声をはりあげること。
- ⑭六十耳順 六十歳になると素直に聞き入れられる。
- ⑮励声一番 勢いのよい掛け声。

6. 秋草文

秋草文とは、秋の野に咲く草や花の図柄のことをいう。

染の秋草文様は、優美さから友禅染が好まれた。友禅染の創始者として知られる宮崎友禅齋は宝永年間の扇面絵師であった。友禅齋は染の技法を考案したが、特質は文様にあり、丸尽し文が原型だった。

秋草文は繊細であり、弱々しくもある。繊細さを失うことなく優美さを表現するために、着物に秋草文様を描き絵画風にする。これこそ日本人ならではの智慧であろう。

春はただ 花の一重に 咲くばかり 物のあはれは 秋ぞまされる(和泉式部)

小さく、か細く見える秋草が咲ききそう様は、爛漫の春とは明らかに異なる「もののあわれ」を感じさせる。やがて枯葉となり、そして冬を迎える。人が秋草にあわれを感じるのは自然の惜別への伝言と受け止めるからなのかも知れない。

Seminar & Business

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日時	テーマ・内容	講師	会場
第4回 ヒューマンエラー 防止セミナー	10月15日(水) 9:30～17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故 を防ぐポイント	関西大学社会安全学部 社会安全研究科教授 中村 隆宏氏	三の丸ホテル
経理セミナー (基礎編)	11月7日(金) 9:00～16:30 8,000円	わかりやすい！経理の基礎講座	木村税理会計事務所所長 木村 聡子氏	水戸京成ホテル
経理セミナー (応用編)	11月20日(木) 9:00～16:30 8,000円	簡単にわかる！決算書の見方・ 読み方	財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一氏	水戸京成ホテル

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp



Re-Tem



未来のために、よりよい自然環境を保全し、
希望と生命力にあふれた社会の実現に貢献します。

資源リサイクル・環境コンサルティング・エコマネジメント

資源循環の総合ソリューションカンパニー

株式会社 リーテム

水戸工場 〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡3520 Tel:029-292-1220
東京工場 〒143-0002 大田区城南島3-2-9 Tel:03-3790-2100
本社 〒101-0021 千代田区外神田3-6-10 Tel:03-3258-8586
<http://www.re-tem.com/>

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

OSC 小川産業株式会社

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市磯原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1
0293-42-1200 029-850-7500

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

CROWN
"ATHLETE"
SERIES



クラウン アスリート

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械



東栄機工株式会社

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL (0299) 96-6023 (代) FAX (0299) 96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL (029) 219-5577 (代) FAX (029) 219-5588

東栄グループ

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

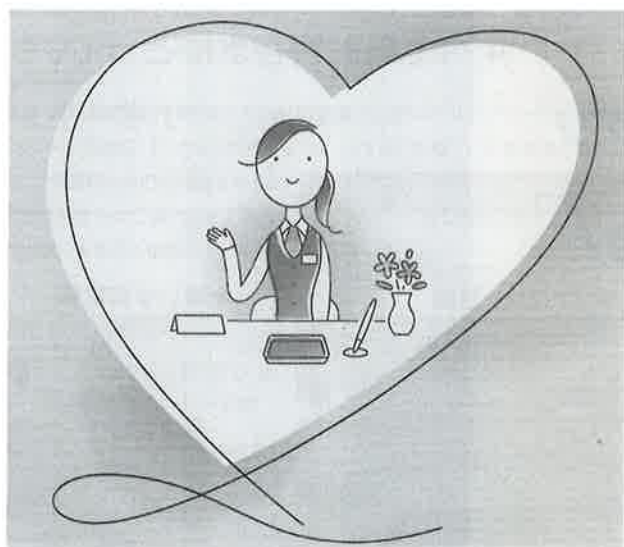
プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社

<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16

TEL (0299) 94-3366 FAX (0299) 94-3666 TEL (0299) 97-1050 FAX (0299) 97-2776

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



就職MAP 茨城版

Job Research Map

For
新卒者
採用

For
キャリア
採用

For
パート
アルバイト
採用

採用支援サイト

【就職MAP】リニューアルオープン

<http://www.shumap.jp/>

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。（経営者協会会員に限ります）

求人情報の掲載は、
茨城県経営者協会「就職MAP」担当（後藤）まで
TEL 029-221-5301
FAX 029-224-1109
E-mail info@ikk.or.jp